国保組合だより

発行
香川県建設国民健康保険組合
高松市鹿角町151-4
TEL087-866-4721
FAX087-866-7455
ホームページ
https://www.kaken-kokuho.jp
E-mail
info@kaken-kokuho.jp
E-mail（保健師相談）
health@kaken-kokuho.jp

2年連続の黒字

7年度決算を認定

― 7月通常組合会 ―

普通調整補助金が増加
高額医療費共同事業の収支が改善

7月17日㈭午前10時から、本部会館において、組合会議員31人（委任状提出者6人を含む。）、理事長、副理事長、代表監事（議員兼職）の出席で7月通常組合会が開催されました。

吉田謹士議員（高松支部）が議長に、佐野秀樹議員（中讃支部）が副議長に選出された後、令和7年度の事業報告や歳入歳出決算等について確認いただき、すべての議案が認定・可決されました。

■被保険者数の動向

令和7年度の年間平均組合員数は、540人で、前年度より63人減少、家族数は、910人で、278人減少しました。家族数が大きく減少していま す。合計被保険者数は、1万315人で、340人減少しました。

一方、国庫補助率の低い組合特定被保険者の数は、年々増加しており、全被保険者数に占める割合は、25・1％となっています。

特定健診受診率は0・3ポイント増加

■特定健診・特定保健指導の実施状況

令和7年度の特定健康診査の受診率（速報値）は、68・1％で、前年度の受診率を0・3ポイント上回っていますが、国の目標値70％を達成することはできませんでした。そのなかで70％に到達した支部は、高松北、南部、高松、西讃の4支部です。

特定保健指導の実施率（速報値）は、26・3％です。前年度同時期を下回るものの、バス健診当日の初回面接分割実施の効果により、利用率は47・1％となっており、10月の法定報告時は、国の目標値30％に到達する見込みです。

■歳入の状況

保険料収納額は、18億289万円でした。後期高齢者支援金分の月額保険料を引き上げましたが、被保険者数が減少したため、前年度より2115万円、1・2％減少しました。

国からの補助金は、18億5078万円で、前年度より108万円、0・1％増加しました。

被保険者一人当たりでは、17万9427円で、前年度より5828円、3・4％増加しました。補助金のうち、被保険者の所得水準を反映して算定される普通調整補助金が予想より多く交付されました。

また、子ども・子育て支援金制度導入に係るシステム改修等の費用は、全額が補助されました。

高額療養費共同事業交付金は、1億11万円が交付されました。高額医療費共同事業は、国保組合同士の再保険制度で、拠出金を出し合い、高額なレセプトがあった場合にその金額に応じて交付金が交付されます。

前年度からの繰越金は、令和6年度決算剰余金から、財政調整基金への積立て1億円を除いた4億4021万円で、前年度より687万円増加しました。

■歳出の状況

保険給付費のうち療養給付費（病院等に支払った医療費）は、17億2577万円で、前年度より408万円、0・2％減少しました。被保険者一人当たりでは、16万7308円で、前年度より4956円、3・1％増加しました。

後期高齢者支援金等は、7億4649万円で、前年度より81万円、0・1％減少、介護納付金は、3億1809万円で、前年度より677万円、2・1％減少しました。被保険者数の減少と前々年度に払いすぎていた分の精算による減です。65歳以上の被保険者の加入率等に応じた財政調整の制度である前期高齢者納付金等は、1億4507万円で、前年度より5735万円、65・4％増加しました。

■歳入歳出差引剰余金と実質単年度収支

歳入歳出差引剰余金は、5億2468万円でした（前年度より1552万円減少）。このうち、1億円を財政調整基金に積み増し、残りの額を翌年度に繰り越します。

令和7年度のみの実質的な収支を把握するための指標である実質単年度収支は、1億1933万円の黒字でした。黒字となった主な要因として、普通調整補助金が予想より多く交付されたことと、高額医療費共同事業の収支が改善したことが挙げられます。

令和8年度から子ども・子育て支援金制度が開始

2年連続での大きな黒字となりましたが、令和8年度からは、新たに子ども・子育て支援納付金分の保険料を徴収して国に納付金を納めなければならなくなりました。また、65歳以上の方の加入率に応じた財政調整の制度である前期高齢者納付金は、ここ3年で大きく伸びています。後期高齢者支援金、介護納付金の一人当たりの負担額も、今後、しばらくは、増加し続ける見込みです。

高齢者の医療費や介護給付費の抑制は、私たちの努力が及びにくいものですが、香建国保の医療費は、「セルフメディケーション（自分の体や健康に関心をもち、自分の健康は自分で守ること）」により抑制することができます。健診を毎年受診して、特定保健指導を積極的に受けることで疾病の早期発見や早期治療を心がけていただくとともに、ジェネリック医薬品活用などの医療費の節約にご協力くださいますよう、お願いします。

また、こうした取組みが被保険者の皆さまの健康の維持につながることを願っています。

令和7年度歳入歳出決算

歳入　　平均被保険者数＝10,315人

科目	収入済額（円）	構成率(%)	被保険者１人当たり（円）
国民健康保険料	1,802,896,000	42.91	174,784
使用料及び手数料	0	0.00	0
国庫支出金	1,850,785,383	44.05	179,427
前期高齢者交付金	0	0.00	0
出産育児交付金	640,213	0.02	62
県支出金	0	0.00	0
共同事業交付金	100,119,000	2.38	9,706
財産収入	2,489,403	0.06	241
寄附金	0	0.00	0
繰入金	0	0.00	0
繰越金	440,212,925	10.48	42,677
諸収入	4,740,532	0.10	460
合計	4,201,883,456	100.00	407,357

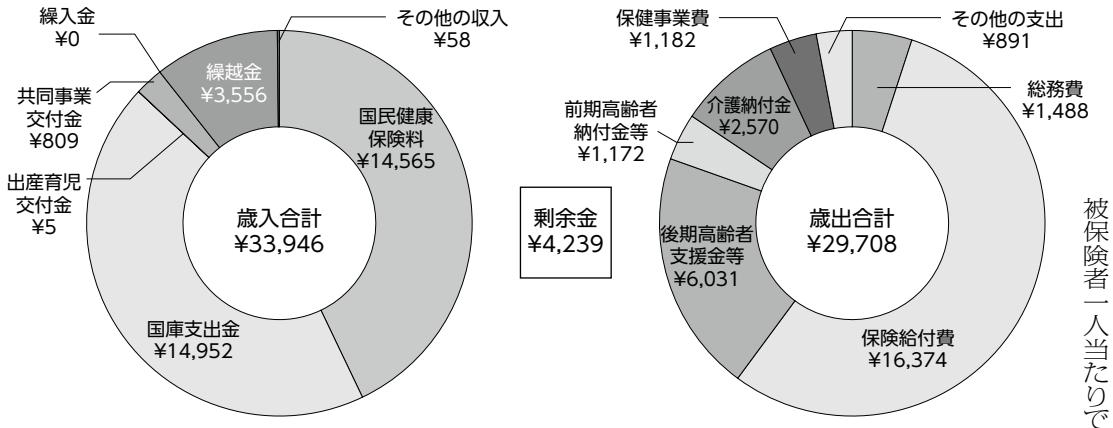
歳出

科目	支出済額（円）	構成率(%)	被保険者１人当たり（円）
組合会費	1,190,887	0.03	115
総務費	183,023,790	4.98	17,743
保険給付費	2,026,755,759	55.12	196,486
後期高齢者支援金等	746,496,098	20.30	72,370
前期高齢者納付金等	145,075,686	3.95	14,065
介護納付金	318,096,735	8.65	30,838
流行初期医療確保拠出金等	0	0.00	0
共同事業拠出金	78,434,008	2.13	7,604
保健事業費	146,326,294	3.98	14,186
積立金	5,093,069	0.14	494
諸支出金	26,707,954	0.72	2,590
合計	3,677,200,280	100.00	356,491

剰余金の処分

区分		総額（円）	被保険者１人当たり（円）
歳入歳出差引剰余金		524,683,176	50,866
処分内容	特別積立金積立額	0	0
	給付費等支払準備金積立額	0	0
	財政調整基金積立額	100,000,000	9,695
	翌年度繰越額	424,683,176	41,171

令和7年度　被保険者1人当たり月額による収支の内訳



財産目録

令和８年３月31日現在

不動産及び備品	取得価格(円)	備考
土地（宅地・会館敷地）	30,000,000	最終登記日：S55.2.13 630.05㎡（191坪）
土地（雑種地・駐車場）	14,812,000	最終登記日：H20.7.8 702.00㎡（212坪）
建物	36,643,321	最終登記日：H12.4.4 持分登記 271.86㎡/739.30㎡（37%）
備品	14,135,015	令和６年度末　226点　14,038,429円 令和７年度中増　3点　108,546円 令和７年度中減　1点　11,960円

積立金	金額（円）	被保険者１人当たり（円）	備考
特別積立金	223,863,022	21,703	法定積立金 保有率 136.36%
給付費等支払準備金	108,262,682	10,496	法定積立金 保有率 127.07%
財政調整基金	415,235,377	40,255	財政調整基金規程に基づく積立金
退職積立金	23,562,784	2,284	規約に基づく積立金
小計	770,923,865	74,738	前年度比 0.7%増